

有限会社米村木工

鳥取県鳥取市

はばたく中小企業・小規模事業者300社

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

高い技術力による高付加価値製品の展開 企業との連携、雇用創出により地域貢献

1930年に小物木製品の挽き物業（木製品を回転させ、刃物を当てて加工する技術）として創業し1988年10月に法人化した。1983年に大手スポーツ用品メーカーとグラウンドゴルフクラブを共同開発し、同製品の製造取引を開始した。

それ以降、グラウンドゴルフ市場の約6割を占有している前述の大手スポーツ用品メーカーのOEM生産を受け持ち、順調に売上を伸ばしてきた。近年では長年培ってきた木製品加工の技術を活用し、けん玉や福祉器具の生産も手掛けている。

- | | | | |
|---------|---|-------|-------|
| ●所在地 | 鳥取県鳥取市青谷町吉川102 | ●設立 | 1988年 |
| ●電話/FAX | 0857-85-0805/0857-85-0809 | ●資本金 | 300万円 |
| ●URL | http://yonemoc.com/ | ●従業員数 | 30人 |
| ●代表者 | 代表取締役 米村 安弘 | | |



需要獲得

ものづくり

競技用けん玉への方向転換による海外販路の開拓

工芸的な木工製品として観賞用のけん玉を開発し、けん玉の製造・販売事業へ参入。高い技術力が認められ世界的なけん玉普及ネットワークを持つ「一般社団法人グローバルけん玉ネットワーク」との共同開発で新ブランド「レガシス」を完成させた。これを機に競技用けん玉へ方向転換した。

「けん玉ワールドカップ2017」で同社製品を使ったユーザーから反響が相次ぎ、アメリカで高いシェアを誇るハイクオリティけん玉ブランドである「グレイン・セオリー」から製造依頼を受託し、今後も月平均200本の受注を見込んでいる。



競技用けん玉レガシス

地域企業との連携と地域雇用の創出

地元鳥取県で新スポーツとして1982年に開発されたグラウンドゴルフについては、当初から木材加工技術を活かしスポーツ用品メーカーと共同でクラブの開発、製造を行っている。長年培ってきた木材加工技術は他業種の企業からも高い評価を得ており、様々な分野から相談を受け地域企業と連携して商品開発している。更に、現在地元出身者を中心に30名の雇用を創出しており、地域雇用の受け皿として地域経済活性化の一端を担っている。



社員の集合写真

高付加価値製品による他社製品との差別化

グラウンドゴルフクラブの製造においては、木材加工技術を駆使し他社製品とは異なる形状を採用することが可能である。更に、塗装技術も優れており、バラエティーに富んだデザインの商品を製作し付加価値の高い製品提供が可能となっている。製材から完成に至るまでの一貫生産が可能であるため、顧客の要望にも柔軟に対応して他社との差別化を図っている。

競技用けん玉においては、高難度の技の成功率を高めるためにミリ単位で各部位の調整を行っており、一般的な競技用商品との差別化を図っている。



グラウンドゴルフクラブ